

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 3 年度第 4 回 富士見市市民参加及び協働推進委員会 議事録</p>						
日 時	令和 4 年 3 月 9 日 (水)		開会	午後 7 時 0 0 分		
			閉会	午後 7 時 5 5 分		
場 所	富士見市役所 1 階 全員協議会室					
出席者	委 員	横山委員長	朝賀副委員長	小池委員	高野委員	佐藤委員
		○	○	○	○	○
		鈴木(将)委員	児玉委員	馬場委員	小森委員	東海林委員
		○	○	○	○	○
事務局	協働推進課 長根副課長、赤田主査、久保田主任					
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 令和 3 年度審議会等設置状況調査結果報告</p> <p>(2) 令和 4 年度公募委員募集・パブリックコメント実施予定報告</p> <p>(3) 富士見市協働事業提案制度について</p> <p>(4) 令和 4 年度スケジュール (案) について</p> <p>(5) その他</p> <p>5 閉会</p>					

議 事 内 容

長根副課長	<p>1 開 会 開会あいさつ</p>
委員長	<p>2 委員長あいさつ あいさつ</p>
佐藤委員 長根副課長	<p>3 委員自己紹介 富士見市市民人材バンク推進員の会推薦の鈴木美佐江委員の令和3年12月末日付け辞職申出に伴い、同会推薦委員を佐藤富美氏へ変更。 自己紹介 他の委員紹介</p>
事務局	<p>4 議 題 富士見市市民参加及び協働推進委員会条例第6条第1項の定めにより、横山委員長が議長となり、議事を進行した。</p> <p>(1) 令和3年度審議会等設置状況調査結果報告 資料1 審議会等の委員比率について（令和3年10月1日現在）</p>
事務局	<p>資料に基づき説明。今後も公募の実施や、女性委員の選任に努めるよう、各所属へ働きかけていく。</p>
委 員	<p><質疑・意見> 女性委員の比率が少ない場合、団体推薦ではなるべく女性の推薦をお願いするのか。また、公募委員の選考では女性が優位となる等の配慮がされているのか。</p>
事務局	<p>各所管課には、審議会等の設置運営に関する指針に基づき、女性委員も選任されるよう、団体推薦時に働きかけをお願いしている。また、公募委員の選考については各所管課で行っているため、詳細は把握していないが、本委員会においては、団体推薦された委員と公募委員とでバランスがとれるよう、応募理由・年代・性別・居住地域等を総合的に勘案し選考している。</p>
議 長	<p>女性に委員になってほしいと働きかけても、実際に手を挙げる人は少ないと思うし、性別による区別をしない方がよいという考えもある。また、審議内容によっては女性の方が多いこともある。いずれにしても、事務局側の努力が必要であるため、引き続き頑張してほしい。</p>

委員	総合計画等審議会が含まれていないのはなぜか。
事務局	本調査は、令和3年10月1日現在に活動している審議会等の公募委員や女性委員の比率の調査結果である。総合計画等審議会は昨年度で一旦休止し、本年10月1日より後に再開しているため、休止された審議会等に含まれている。
委員	8ページの年齢構成では、全体として60代・70代の人数が多く、20代・30代の人数が非常に少ない。富士見市の未来を考えると、20代・30代の人数を増やしていく努力が必要である。
事務局	団体推薦で若い世代が推薦されることは少ないため、現状では難しい。公募委員での若い世代の委員選任や、推薦依頼する団体の考慮等の工夫は考えられる。
委員	入札監視委員会は専門性や審議内容により公募をしていないが、委員の専門的な知識の有無に疑問がある。専門的な知識を有する識者を広く選任するためには、公募することも必要ではないか。
事務局	委員の決定に関しては各所管課の判断である。委員には適任者が選任されていると考えているが、ご意見として承る。
委員	指針では、女性委員の割合が40%以上になるように努める一方、一方の性が60%を超えない範囲を目標としている。女性委員比率が68.8%と高い審議会等もあるため、バランスのとれた選任が必要である。
事務局	審議内容によっては、関係団体に所属する女性が多いことにより、比率が高くなっている審議会等がある。女性委員の割合が指針に基づくよう、引き続き所管課へ働きかけていく。
議長	女性委員割合の目標値については、現状では難しい状況もあると思うが、審議内容にそった委員選任は必要であると考えため、事務局には適正な選任に引き続き努めてもらいたい。
	<p>(2) 令和4年度公募委員募集・パブリックコメント実施予定報告</p> <p>資料2 令和4年度審議会等委員公募予定</p> <p>資料3 令和4年度パブリックコメント募集予定</p>
事務局	資料に基づき説明。市広報4月号及び市ホームページで公表予定。なお、募集時期や案件名等については、変更になる場合がある。

委員	<p><質疑・意見> 教育振興基本計画審議会の任期は何年であるのか。</p>
事務局	<p>任期は、計画に係る答申を行うまでとなるため、令和4年度中となる見込みである。</p>
委員	<p>県の教育行政において、これまで県立中高一貫校はこれ以上作らないとしていたのを解除する方へ方針転換があるかもしれないと聞いた。この県立中高一貫校の誘致について審議するのであれば、教育振興基本計画審議会の公募委員の人数を増強しても良いと思う。</p>
事務局	<p>ご意見として承る。</p> <p>(3) 富士見市協働事業提案制度について</p> <p>資料4 協働事業提案制度の令和4年度改正点について</p>
事務局	<p>提言やこれまでの委員会での議論に基づく制度改正に向けた調整が終了していないため、現状で全体的な制度改正はできない。しかし、令和4年度の募集では、予算等に影響しない書類等の手続の煩雑さの解消を検討している。事務局で検討している令和4年度の制度改正案について、資料に基づき説明。</p>
委員	<p><質疑・意見> 提案募集の周知は6月からしか実施できないか。</p>
事務局	<p>周知にあたっては、募集要領を同時に配布している。今回、様式を改正するには要綱の一部改正手続が必要であるため、6月より早めることは難しいと考える。</p>
委員	<p>募集要領の配布は6月からでよいが、募集告知のポスター掲示だけでも4月に行えないのか。申請書を作成するにしても、募集していることを知らないと始まらない。また、大学生へ提案募集を働きかけるのであれば、4・5月に行う方がより申請につながる可能性がある。はじめは、協働事業の要件や提案者の要件が分かればよく、申請様式は後から提供しても差し支えないのではないか。</p>
委員	<p>市の立場では制度を整えてから募集を行っていきたいというのは分かるが、提案募集について早く市民へ広めた方がよいというのは、やはり正論であると思うので、検討の余地はあるのではないか。</p>
事務局	<p>スケジュール上、市広報への掲載を早めるのは難しいので、募集告知のポスターや市ホームページへの掲載について検討していく。</p>

委員	市内にある掲示板も活用した方がよい。
委員	提出書類の簡素化の内容については、良いと思う。
議長	できることは実施していく方が望ましい。これまでのやり方を変えるのは大変だが、一步踏み出し、制度の活性化・地域の活性化につながるとうよい。
議長	<p><議決></p> <p>令和4年度の制度改正案について、承認を求めた結果、委員一同より承認が得られた。</p> <p>(4) 令和4年度スケジュール(案)について</p> <p>資料5 令和4年度市民参加及び協働推進に関するスケジュール(案)</p>
事務局	<p>資料に基づき、令和4年度の会議日程について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度第1回推進委員会 日時：令和4年5月18日(水)午後7時～ 場所：富士見市役所2階 第1会議室 <p><質疑・意見> なし</p>
委員	<p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントに関して 資料3の令和4年度パブリックコメント募集予定はどのように周知を行うのか。また、今年度は1月に複数のパブリックコメントを同時に募集したため、市広報でも大きく掲載されたが、その結果はどうだったのか。
事務局	<p>令和4年度パブリックコメント募集予定は、市広報4月号及び市ホームページで公表する。また、今年度募集したパブリックコメントは8件あったが、現在募集中の案件もあり、まだ集計は終了していない。意見件数等は、令和3年度市民参加・協働に関する取組み調査結果において報告する。</p>
	5 閉 会